

**JAPANESE A1 – HIGHER LEVEL – PAPER 2**  
**JAPONAIS A1 – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 2**  
**JAPONÉS A1 – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 2**

Wednesday 22 May 2002 (morning)

Mercredi 22 mai 2002 (matin)

Miércoles 22 de mayo de 2002 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

---

**INSTRUCTIONS TO CANDIDATES**

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied. You may include in your answer a discussion of a Part 2 work of the same genre if relevant. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works, will not score high marks.

**INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS**

- Ne pas ouvrir cette épreuve avant d'y être autorisé.
- Traiter un seul sujet de composition. Vous devez baser votre réponse sur au moins deux des œuvres de la 3<sup>e</sup> partie que vous avez étudiées. Le cas échéant, vous pouvez inclure dans votre réponse une discussion sur une œuvre du même genre littéraire étudiée dans la 2<sup>e</sup> partie du programme. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la 3<sup>e</sup> partie n'obtiendront pas une note élevée.

**INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS**

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Elija un tema de redacción. Su respuesta deberá basarse en al menos dos de las obras estudiadas en la Parte 3. Se podrán hacer comentarios sobre una obra de la Parte 2 del mismo género, si fuera necesario. Las respuestas que no incluyan una discusión sobre al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán notas altas.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。エッセイを書くに当たっては、授業で学習した部門（Part 3）から、少なくとも二つの作品に言及しなさい。なお、同じジャンルであれば、Part 2の作品やその他の作品を扱うことも可能であるが、あくまでも Part 3 の二作品を主として、エッセイを書くこと。（Part 2:精読の部門.Part 3:ジャンル別の部門）

### 1. 物語・小説

- (a) 小説や物語は、その語り手によって、どのような異なった効果を生み出しますか。あなたの読んだ作品から例をあげて、その長所短所もあわせて論じなさい。

あるいは

- (b) 文学作品の中には、母的なイメージと父的なイメージが存在するという意見があります。母的なイメージは、情緒的で親密な共生の世界を表し、父的なイメージは、社会的な他者との関係の世界を表していると言われていています。あなたの読んだ作品から例をあげ、考えるところを述べなさい。

### 2. 随筆・評論

- (a) 日本の中世の人々のものの見方は、無常観が支配的であったと言われていますが、あなたの読んだ作品にも無常観の影響が見られるでしょうか。

（無常観：一切のものは無常であるとする考え方）

あるいは

- (b) 作品の主題を読者により深く考えさせるために、作者はどのような工夫をしているでしょうか。例をあげて、あなたの考えるところを述べなさい。

### 3. 詩歌

- (a) 日本の詩歌の主題には、移ろいやすい物に対して感じる抒情や詠嘆がよく見られると言われていています。例を挙げて、この意見について考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 現代詩という概念は、それ以前の詩とは異なるという人がいます。伝統的な詩歌と現代の詩を比較し、現代詩の特徴について考えるところを述べなさい。

4. 戯曲

- (a) あらゆる体験が間接化している現代では、人間同士が激しく対立する表現を持つ劇芸術がもっと重要になるという意見があります。どのような作品が現代人に強く訴えるものとして心に浮かびますか。例をあげて、あなたの考えるところを述べなさい。

あるいは

- (b) 悲劇の中に貴劇的要素があり、また喜劇の中に悲劇的要素があるとよく言われています。あなたの読んだ作品を例とし、この意見について考えるところを述べなさい。

5. 一般的設問

- (a) 日本的な美意識の特徴は、暗示性と簡素さにあると言われていますが、あなたの読んだ作品の中から、これらの特徴について考えなさい。

- (b) 「三つ子の魂、百まで」というように、確かにこどもの時の性格が、その生涯を通じて変わらないことも、またその反対に大きく変わっていくこともあります。あなたの読んだ作品から例をあげて、性格描写の方法についてあなたの考えるところを述べなさい。

- (c) 「データと証言を基に、正確さと公正さを目指すジャーナリストの文章と異なり、文学の作家は、事件の中に物語性を発見しようとする」という考え方があります。事件の中に見いだす物語性とは何かについて、考えるところを述べなさい。

- (d) あなたの読んだ作品の中で、主人公とその周辺の人物は、どのように描き分けられていますか。それは、作品の主題と、どのように関係してくるのでしょうか。考えるところを述べなさい。